

文学史五十連発

〈文学史を放棄することは……〉

【和歌】

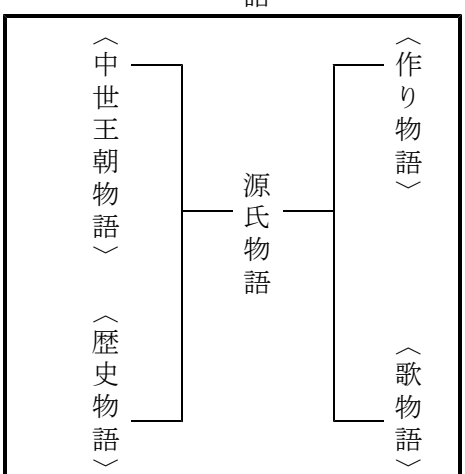
- 1 『万葉集』の歌人でない人物を一人選び、記号で答えよ。
ア 額田王 イ 柿本人麻呂 ウ 山部赤人 エ 大伴家持 オ 後白河院
 - 2 八代集を成立順に挙げよ。
 - 3 『古今和歌集』の撰者を四人挙げよ。
 - 4 『古今和歌集』「仮名序」を記した人物が書いた日記は何か。
 - 5 『古今和歌集』の「六歌仙」をすべて挙げよ。
 - 6 4で挙げた人物の一人が主人公と目されている歌物語は何か。
 - 7 清原元輔ら「梨壺の五人」が撰者である和歌集は何か。
 - 8 『千載和歌集』の撰者が書いた他の作品を一つ、ジャンルを添えて書け。
 - 9 『新古今和歌集』の撰者が書いた他の作品を三つ、ジャンルを添えて書け。
 - 10 『新古今和歌集』に一番多く歌が採られている人物の、私歌集は何か。
 - 11 歌論『無名抄』の作者を記せ。また、その作者が書いた他の作品を二つ、ジャンルを添えて書け。
-

【物語】

12 作り物語（伝奇物語）を三つ書け。また、その中で、継子いじめ譚はどれか。

13 歌物語を三つ書け。また、その中で、最古にできた歌物語の主人公と目される人物を記せ。

14 平安時代に成立した中世王朝物語を五つ記せ。



15 14の中世王朝物語のうち、短編集はどれか。また、江戸時代に書かれた短編集の読本は何か。

16 歴史物語を五つ記せ。また、その中で、描かれている中心人物が同じものはどれとどれか。

17 『源氏物語』に関する説明として**不適切なもの**を、次の選択肢①～⑤の中から一つ選べ。

① 『源氏物語』は、主人公光源氏の一生を描いた前半の四十四帖と、宇治十帖といわれる薫大将を主人公とする後半に分けられる。

② 『源氏物語』の体裁が主人公と女性との恋の模様の一代記であることは、この作品が『伊勢物語』の影響を受けていることを示している。

③ この物語が発表当初から世評が高かったことは、『蜻蛉日記』の作者が少女時代この物語に熱中したと回想していることでも分かる。

④ この物語の影響は、平安時代後期の『狭衣物語』や江戸時代元禄期の井原西鶴の浮世草子の作品『好色一代男』にも見られる。

⑤ 江戸時代、本居宣長は、その著書『源氏物語玉の小櫛』で、この物語の本質を「ものものはれ」を写すものだと論じた。

18 『平家物語』と異なるジャンルの作品を次の選択肢の中から二つ選べ。

ア 将門記 イ 太平記 ウ 海道記 エ 保元物語 オ 曾我物語

カ 平中物語 キ 平治物語 ク 義経記

【日記・随筆】

19 次の作品は平安時代に成立した日記である。成立順に並べ替えよ。

『和泉式部日記』『蜻蛉日記』『讃岐典侍日記』『更級日記』『土佐日記』『紫式部日記』

20 19の各日記のうち、『蜻蛉日記』『更級日記』『土佐日記』の作者を記せ。

21 『和泉式部日記』と最も近い時代に成立した勅撰和歌集は何か。

22 次の作品は鎌倉時代に成立した日記である。成立順に並べ替えよ。
『十六夜日記』『建礼門院右京大夫集』とはずがたり』

23 22の各日記のうち、『十六夜日記』とはすがたり』の作者を記せ。

24 いわゆる「三大随筆」と、その作者をそれぞれ記せ。

25 江戸時代の随筆作品を三つ、作者も含めて記せ。

【説話】

26 次の選択肢の中から説話集でないものを三つ選べ。

ア 日本霊異記 イ 三宝絵詞 ウ 今昔物語集 エ 宝物集 オ 撰集抄

カ 梁塵秘抄 キ 無名抄 ク 発心集 ケ 宇治拾遺物語

コ 愚管抄 サ 十訓抄 シ 古今著聞集 ス 沙石集

27 26の選択肢キ・シ・スの作品の編者はそれぞれ誰か。

【連歌・俳句】

28 連歌の大成者であり、芭蕉が尊敬していたと言われる人物の名を記せ。

29 28の人物が編纂した連歌集は何か。

30 談林派・貞門派の中心人物をそれぞれ記せ。また、談林派にも属し、一連の「浮世草子」を書いた人物を記せ。

31 芭蕉の「俳諧七部集」をすべて記せ。

32 芭蕉の紀行文ではないものを、次の選択肢の中から二つ選べ。

ア 三冊子 イ 野ざらし紀行 ウ 笈の小文 エ 更級紀行 オ 奥の細道

カ 幻住庵記 キ 去来抄

33 与謝蕪村の句集を三つ記せ。また、小林一茶の句集を一つ記せ。

【江戸】

34 本居宣長の作品ではないものを、次の選択肢の中から二つ選べ。

ア 万葉代匠記 イ 万葉考 ウ 古事記伝 エ うひ山ぶみ

オ 源氏物語玉の小櫛 カ 玉勝間 キ 石上私淑言

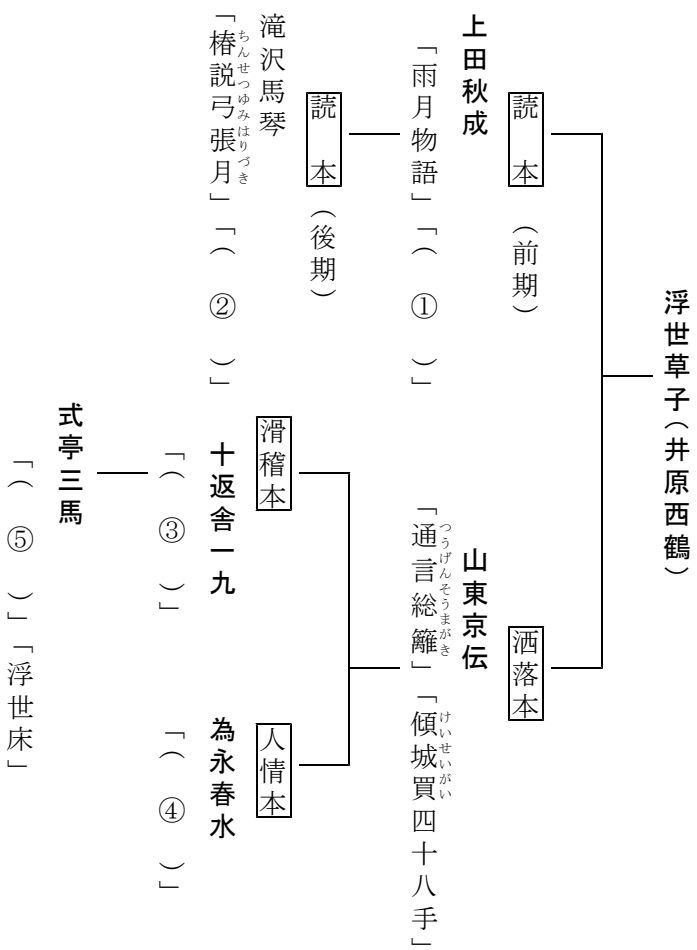
35 井原西鶴の作品ではないものを、次の選択肢の中から二つ選べ。

ア 好色一代男 イ 好色一代女 ウ 好色五人女 エ 日本永代蔵

オ 世間胸算用 カ 武家義理物語 キ 曾根崎心中 ク 国姓爺合戦

36 次の図は江戸時代の小説の流れを示したものである。空欄(①)～(⑤)に入る作品を、次の選択肢の中から選べ。

ア	浮世風呂
イ	金々先生栄華夢
ウ	春雨物語
エ	修紫田舎源氏
オ	南総里見八犬伝
カ	春色梅児誉美
キ	東海道中膝栗毛
ク	東海道四谷怪談



【明治・大正】

37 作家と作品の組み合わせとして適当ではないものを、次の選択肢の中から一つ選べ。

- ア 坪内逍遙『当世書生氣質』 イ 二葉亭四迷『浮雲』 ウ 尾崎紅葉『金色夜叉』
- エ 樋口一葉『たけくらべ』 オ 山田美妙『硯友社』

38 幸田露伴の作品ではないものを、次の選択肢の中から一つ選べ。

- ア 『五重塔』 イ 『風流仏』 ウ 『運命』 エ 『多情多恨』
- イ 田山花袋『蒲団』 ウ 泉鏡花『婦系図』
- エ 徳田秋声『新世帯』 オ 正宗白鳥『夜明け前』

40 永井荷風の作品ではないものを、次の選択肢の中から一つ選べ。

- ア 『あめりか物語』 イ 『すみだ川』 ウ 『つゆのあとさき』 エ 『春琴抄』
- イ 白樺派の作家ではない人物を、次の選択肢の中から二人選べ。
- ア 武者小路実篤 イ 志賀直哉 ウ 有島武郎 エ 芥川龍之介
- オ 山本有三 カ 里見淳

42 森鷗外の作品ではないものを、次の選択肢の中から二つ選べ。

- ア 『吉野葛』 イ 『舞姫』 ウ 『阿部一族』 エ 『青年』 オ 『虞美人草』
- カ 『高瀬舟』 キ 『於母影』
- ア 夏目漱石の作品ではないものを、次の選択肢の中から二つ選べ。
- ア 『陰翳礼讃』 イ 『三四郎』 ウ 『それから』 エ 『門』 オ 『彼岸過迄』
- カ 『行人』 キ 『こころ』 ク 『明暗』 ケ 『和解』

44 作家と作品の組み合わせとして適当ではないものを、次の選択肢の中から二つ選べ。

- ア 小林多喜二『蟹工船』 イ 宮本百合子『伸子』 ウ 葉山嘉樹『太陽のない街』
- エ 山本有三『女の一生』 オ 井伏鱒二『黒い雨』 カ 梶井基次郎『風立ちぬ』

【詩】

- 45 作家と作品の組み合わせとして適当ではないものを、次の選択肢の中から二つ選べ。
ア 北村透谷『楚囚詩』 イ 島崎藤村『若菜集』 ウ 高村幸太郎『春と修羅』
エ 北原白秋『邪宗門』 オ 上田敏『月に吠える』 カ 中原中也『山羊の歌』

【短歌】

46 「写生」を唱えた歌人を挙げよ。

- 47 作家と作品の組み合わせとして適当ではないものを、次の選択肢の中から二つ選べ。
ア 斎藤茂吉『赤光』 イ 与謝野晶子『みだれ髪』 ウ 石川啄木『一握の砂』
エ 北原白秋『桐の花』 オ 長塚節『あらたま』

【昭和】

- 48 三島由紀夫の作品ではないものを、次の選択肢の中から二つ選べ。
ア 『仮面の告白』 イ 『野火』 ウ 『潮騒』 エ 『金閣寺』 オ 『死者の奢り』
カ 『宴のあと』 キ 『美德のよろめき』
49 作家と作品の組み合わせとして適当ではないものを、次の選択肢の中から一つ選べ。
ア 太宰治『斜陽』 イ 坂口安吾『白痴』 ウ 安部公房『砂の女』
エ 遠藤周作『太陽の季節』 オ 井上靖『天平の甍』 カ 沼田真佑『影裏』

50 小林秀雄の評論を七つ記せ。